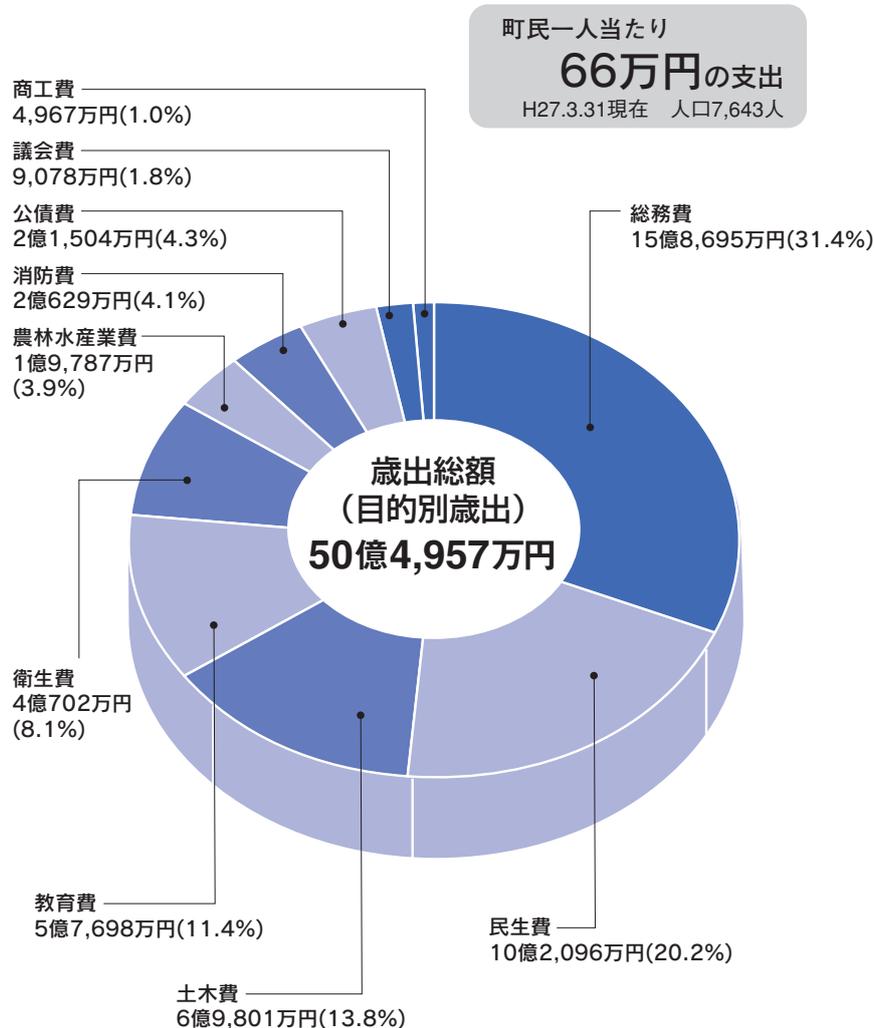


平成26年度

決算

のため健全な財政運営に努めました



一般会計の歳出は50億4,957万円で前年度に比べ0.2%の増となりました。

平成26年度 歳入歳出決算総括表

区分	歳入決算額	歳出決算額	差引額	
一般会計	53億8,419万円	50億4,957万円	3億3,462万円	
特別会計	国民健康保険	12億4,679万円	11億5,215万円	9,464万円
	農業集落排水	7,527万円	7,527万円	0万円
	公共下水道	3億8,042万円	3億5,760万円	2,282万円
	介護保険	5億7,097万円	5億4,577万円	2,520万円
	後期高齢者医療	7,266万円	7,207万円	59万円
合計	77億3,030万円	72億5,243万円	4億7,787万円	

財政状況の公表

平成26年度決算が、9月18日の第3回定例議会で承認されました。決算は、平成26年度に皆さんが納めた税金などをもとに、どのような事業が行なわれたかを示すとともに、町の一年間の歩みの結果でもあります。

平成26年度、町には、一般会計と5つの特別会計があり、各会計の決算の概要についてお知らせします。



TOWN INFORMATION

●町の財産

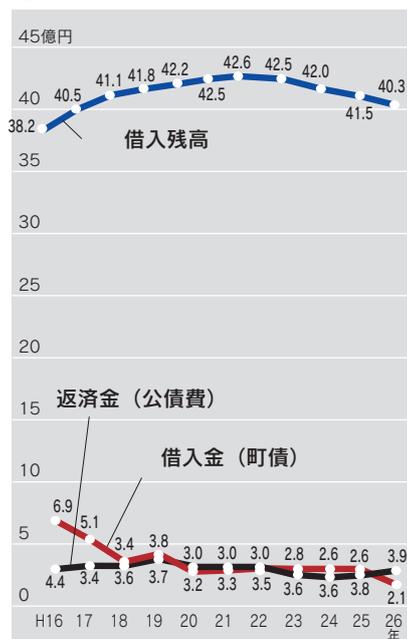
(前年比)

土地	666,713㎡	21,586㎡
建物	52,383㎡	3,138㎡
基金	17億8,632万円	-3,093万円
有価証券 及び 出資金	11億2,658万円	5,611万円

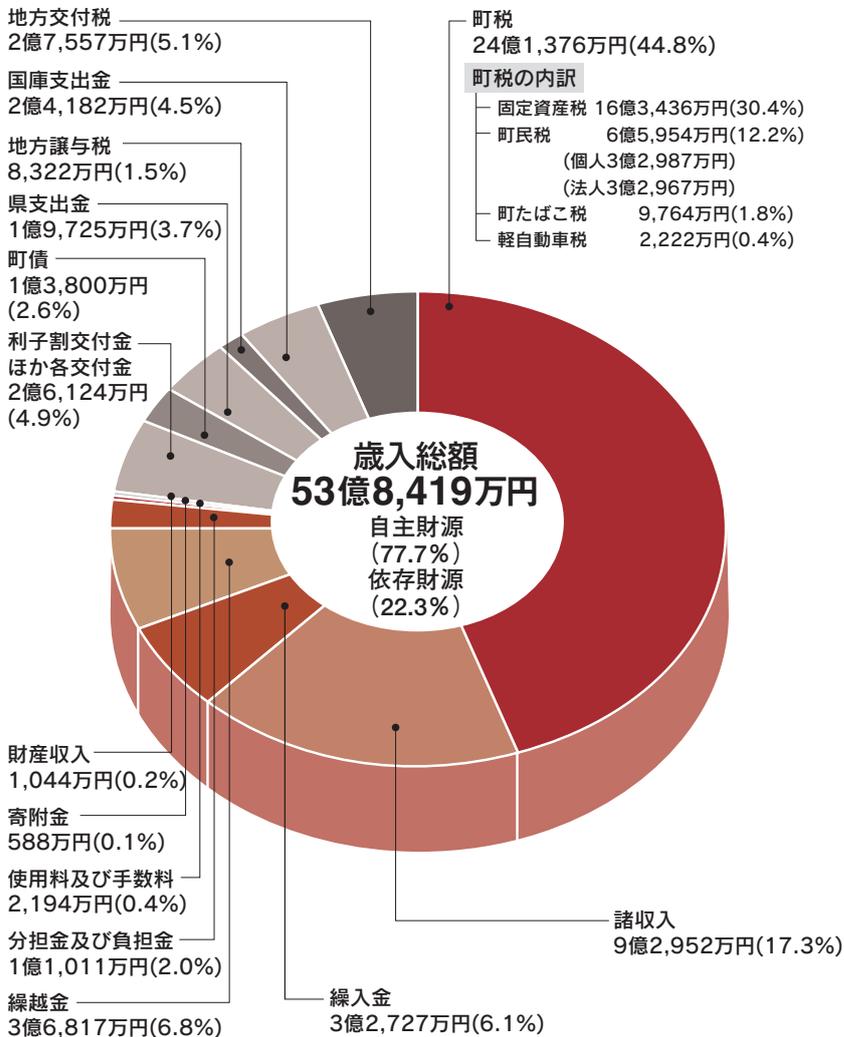
●町の借りているお金 (全会計)

区分	現在高
一般会計	24億3,323万円
特別会計 (下水道関係)	15億9,566万円
合計	40億2,889万円

●町債の状況 (全会計)



快適さ豊かさを実感できる町づくり



一般会計の歳入は53億8,419万円で前年度に比べ0.4%の減となりました。

健全化判断比率及び資金不足比率の公表

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づき、平成26年度決算をもとに算定した財政健全化比率及び資金不足比率を公表します。

財政健全化判断比率の4指標のうち1つでも基準を超えた場合は、「財政健全化計画」や「財政再生計画」を定めることになっていますが、芝山町では財政健全化判断比率及び資金不足比率でも基準を超えることなく、健全な財政を保っています。

◎財政健全化判断比率

(単位：%)

	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
芝山町数値	-	-	4.5	-
早期健全化基準	15.0	20.0	25.0	350.0

(注意) 実質赤字額、連結実質赤字額又は将来負担額がない場合は、「-」と表示。

◎資金不足比率

(単位：%)

特別会計の名称	資金不足比率	経営健全化基準
農業集落排水事業特別会計	-	20.0
公共下水道事業特別会計	-	20.0

(注意) 資金不足額がない場合は、「-」と表示。

[用語の説明]

- ・実質赤字比率…一般会計における赤字の程度を指標化したもの。
- ・連結実質赤字比率…全ての会計における赤字の程度を指標化したもの。
- ・実質公債費比率…借入金およびそれに準じた経費の一般財源における比重を指標化したもの。
- ・将来負担比率…一般会計の借入金や将来支払っていく可能性のある経費などの現時点での残高の程度を指標化したもの。
- ・資金不足比率…公営企業会計の資金不足を料金収入などの額と比較して指標化したもの。